

平成 27 年 11 月 6 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（4-9 月）決算について

平成 28 年 3 月期第 2 四半期の単体決算は、預貸金、事業性貸出先数は堅調に推移いたしましたが、経常利益、中間純利益は減益となりました。

【単体決算概要】

(単位：百万円)

	平成 28 年 3 月期 第 2 四半期	平成 27 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比
コア業務純益	4,926	5,161	△235
経常利益	4,589	5,063	△473
中間純利益	3,880	6,413	△2,532

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 543 億円増加の 1 兆 8,649 億円、貸出金は、同 282 億円増加の 1 兆 3,392 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

また、新規事業所開拓が順調で事業性貸出先数は前年同期比 810 先増加し、13,917 先に達しました。

2. コア業務純益について

本業の収益力を示すコア業務純益は、ほぼ前年と同水準となる 4,926 百万円となりました。

3. 経常利益及び中間純利益について

コア業務純益は、ほぼ前年並みを維持しましたが、経常利益は、償却債権取立益等の減少により 4,589 百万円となり、中間純利益は、前年度の子会社である東和フェニックス株式会社解散に伴う繰延税金資産の計上が無くなり 3,880 百万円となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体が前年同期比 0.32 ポイント上昇の 11.05%、連結が同 0.12 ポイント上昇の 11.15%となりました。

5. 金融再生法開示債権比率について

金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.4 ポイント低下し 3.90%となりました。

以 上